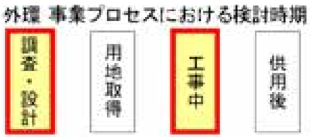
5. 工事中

○これまでに頂いた意見
- 工事中には工事車両が、何年も往来することになる。環境や通学の安全性に影響が出て、生活が壊されてしまう。
- 工事用のトラックによる渋滞、排ガスが心配。

（国）

- 青梅街道インターチェンジに係る工事用車両については、青梅街道を利用する計画としています。また、工事前には、工事用車両の台数、運行ルート、運行時間等について地域のみなさまへ説明するとともに、意見を聴きながら周辺地域への影響が小さくなるよう努めます。

- また、工事中に分断が生じる道路については、切り回し道路の設置等により必要な機能を工事前までに確保します。なお、切り回し等の対策の具体化にあたっては、地域のみなさまの意見を聴きながら対応します。



- 環境への影響については、環境影響評価法に基づき、事業特性や地域特性を勘案のうえ、環境影響評価を適切に実施し、工事の実施における建設機械の稼働及び工事用車両の走行に係る大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉塵等）、騒音、振動について予測・評価した結果、整合を図るべき基準等を達成すると考えています。

- また、環境保全措置として、工事施工ヤードの仮囲いの実施、排出ガス対策型・低騒音型・低振動型の建設機械を使用することなどにより、さらに環境負荷の低減を図ります。

- なお、関係機関と協議を行い、周辺地域への環境影響を極力抑えた工事計画とするとともに、地域の住民のみなさまに対しては、工事の内容、方法、期間などについて周知を徹底します。

- 工事の実施にあたっては、作業員等の指導・教育の徹底を図るとともに、工事区域を明確化し、通学路等を含めた道路の交通安全対策としてガードフェンス、バリケード等で囲うとともに、工事用車両出入口付近には誘導員を配置するなど、交通安全や円滑な交通の確保に努めます。

- 工事区域内における風紀悪化が生じないよう、工事現場周辺のイメージアップを図るなどの対策を実施するとともに、練馬区とも連携し安全・安心の対策に取り組んでまいります。